

NY マーケットレポート (2016年3月24日)

NY 市場では、原油価格や欧米の株価下落を背景に、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。また、2月の米耐久財受注が2ヵ月ぶりに減少したことなどを材料に、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後、下落していた原油価格が反発となり、1バレル=1ドル以上の上昇となったことを好感して、株価もプラス圏まで上昇する動きとなったことから、ドル円・クロス円は終盤にかけて堅調な動きとなった。

2016/3/24 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	112.88	113.01	112.31
EUR/JPY	125.94	126.14	125.57
GBP/JPY	158.93	159.19	158.47
AUD/JPY	84.45	84.85	84.33
EUR/USD	1.1161	1.1187	1.1152

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	112.96	112.58
EUR/JPY	126.14	125.63
GBP/JPY	159.40	158.61
AUD/JPY	84.76	84.39
EUR/USD	1.1188	1.1144

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16892.33	-108.65
ハンセン指数	20345.61	-269.62
上海総合	2960.97	-48.99
韓国総合指数	1985.97	-9.15
豪ASX200	5084.21	-58.06
インドSENSEX指数	25337.56	+7.07
シンガポールST指数	2847.39	-34.59

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6106.48	-92.63
仏CAC40	4329.68	-94.30
独DAX	9851.35	-171.58
ST欧州600	335.10	-4.97
西IBX35指数	8789.80	-137.30
伊FTSE MIB指数	18165.84	-297.04
南ア 全株指数	52323.78	-245.77

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	112.85	112.87	112.39
EUR/JPY	126.13	126.14	125.39
GBP/JPY	159.70	159.87	158.60
AUD/JPY	84.94	84.99	84.40
NZD/JPY	75.64	75.64	75.29
EUR/USD	1.1180	1.1187	1.1148
AUD/USD	0.7528	0.7535	0.7498

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17515.73	+13.14
S&P500	2035.94	-0.77
NASDAQ	4773.50	-4.64
日経225 (CME)	16770	-20
トロント総合	13358.11	-21.37
ボルサ指数	休 場	
ボベスパ指数	49657.39	-32.66

メキシコ市場はMaundy Thursdayで休場

3/25 経済指標スケジュール

08:30	【日本】3月消費者物価指数
08:50	【日本】2月企業向けサービス価格指数
08:50	【日本】3月対内外証券投資
14:00	【日本】1月景気先行CI指数
14:00	【日本】1月景気一致CI指数
16:45	【フランス】4Q GDP
16:45	【フランス】3月消費者信頼感指数
21:30	【米国】4Q GDP
21:30	【米国】4Q個人消費

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1221.60	-2.40
NY 原油	39.46	-0.33
CMEコーン	370.00	+1.50
CBOT 大豆	910.50	+5.25

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.87%	0.85%
3年債	1.04%	1.03%
5年債	1.38%	1.36%
7年債	1.69%	1.67%
10年債	1.90%	1.88%
30年債	2.67%	2.66%

3/25 主要会議・講演・その他予定

- ・英・独市場休場
- ・米国一部市場休場
- ・欧州夏時間 (27日～)

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 112.74 ユーロ/円 125.73 ユーロ/ドル 1.1153

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6114.58	-84.53	ダウ 先物ミニ	17335	-91
仏 CAC40	4339.73	-81.25	S&P 500 ミニ	2017.00	-11.75
独 DAX	9874.73	-148.20	NASDAQ 100 ミニ	4369.50	-26.00

(出所: SBILM)

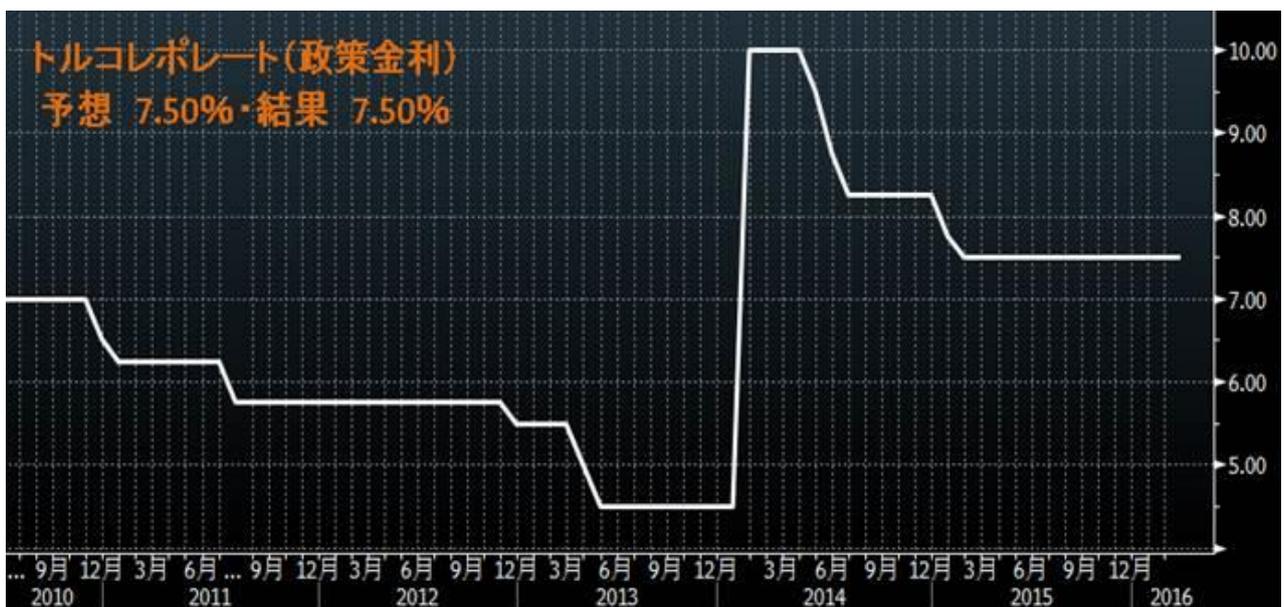
21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

トルコレポレート (政策金利) 7.50% (予想 7.50%・前回 7.50%)

トルコ翌日物貸出金利 10.50% (予想 10.75%・前回 10.75%)

トルコ翌日物借入金利 7.25% (予想 7.25%・前回 7.25%)



(出所: ブルームバーグ)

21:15

◀ 要人発言 ▶

ブロード・セントルイス連銀総裁

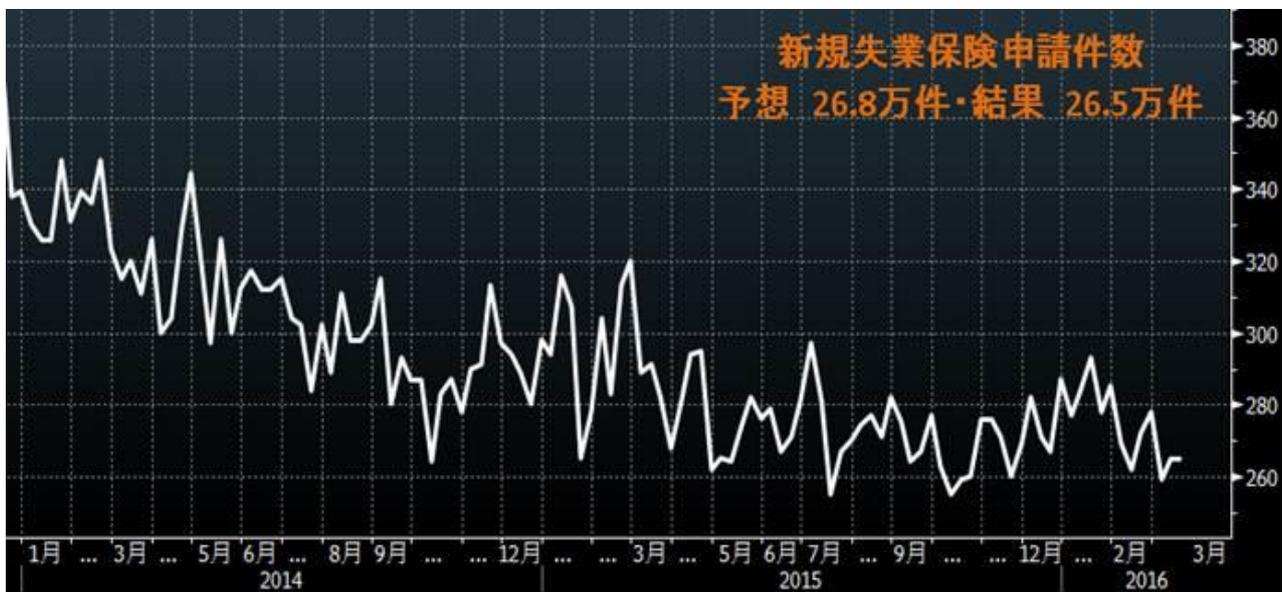
- ・「3月のFOMC予測の下方修正は比較的小さい」
- ・「当局予測は次回利上げがはるか遠くないことを示唆」

21:30

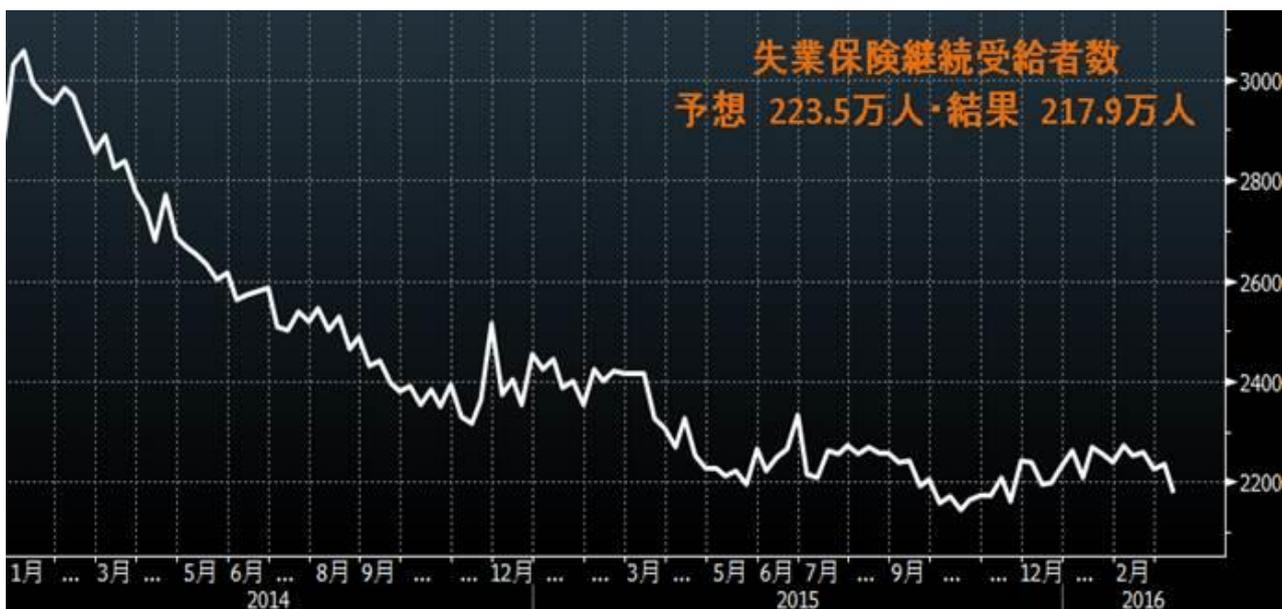
◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 26.5万件（予想 26.8万件・前回 25.9万件）
 前回発表の26.5万件から25.9万件に修正

失業保険継続受給者数 217.9万人（予想 223.5万人・前回 221.8万人）
 前回発表の223.5万人から221.8万人に修正



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/03/19	265,000	6,000	259,750	*****	*****
16/03/12	259,000	6,000	259,500	2,179,000	1.6%
16/03/05	253,000	-24,000	259,750	2,218,000	1.6%
16/02/27	277,000	5,000	270,000	2,198,000	1.6%
16/02/20	272,000	10,000	272,000	2,257,000	1.7%
16/02/13	262,000	-7,000	273,250	2,254,000	1.7%
16/02/06	269,000	-16,000	281,250	2,272,000	1.7%
16/01/30	285,000	+8,000	284,750	2,243,000	1.6%
16/01/23	277,000	-17,000	282,750	2,260,000	1.7%
16/01/16	294,000	+11,000	285,250	2,274,000	1.7%
16/01/09	283,000	+6,000	278,500	2,219,000	1.6%
16/01/02	277,000	-10,000	275,750	2,264,000	1.7%

受給者数は集計が1週間遅れる

21:30

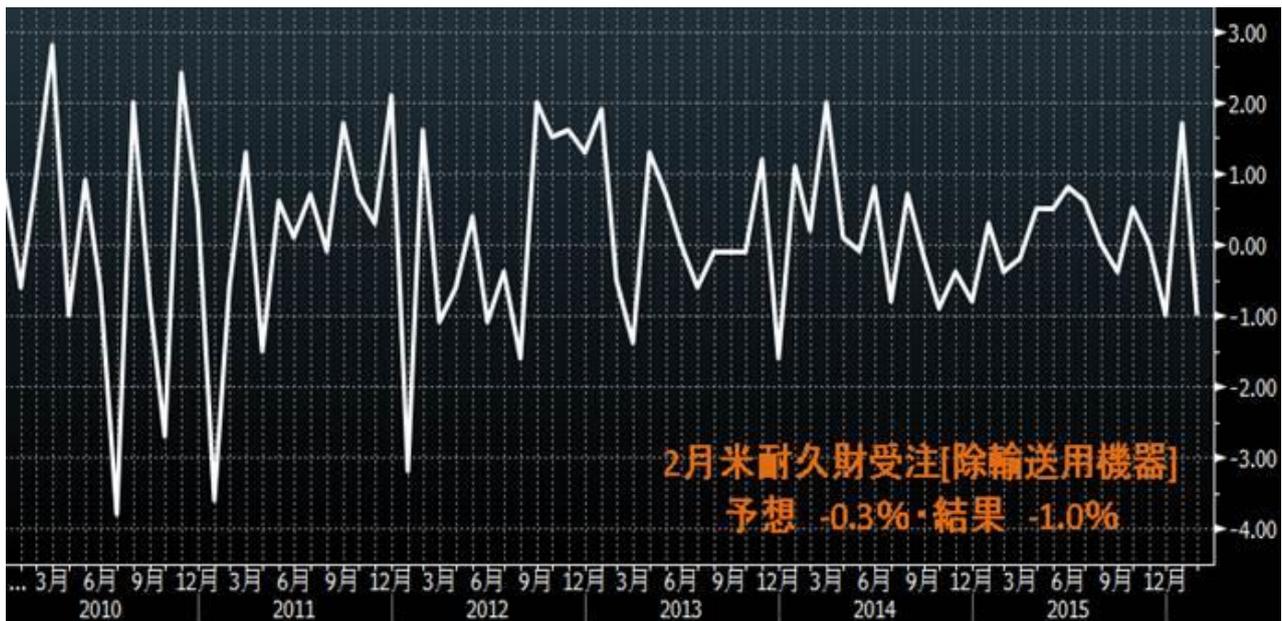
《 経済指標の結果 》

2月米耐久財受注(前月比) -2.8% (予想 -3.0%・前回 4.2%)
 前回発表の4.7%から4.2%に修正

2月米耐久財受注[除輸送用機器] -1.0% (予想 -0.3%・前回 1.2%)
 前回発表の1.7%から1.2%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《米耐久財受注》	2月	1月	12月	11月	10月	9月
耐久財新規受注	-2.8	4.2	-4.6	-0.5	2.8	-0.8
輸送機器除く	-1.0	-1.2	-0.7	-0.5	0.5	-0.1
国防関連除く	-1.9	3.7	-2.5	-2.0	3.0	-1.6
資本財	-9.5	19.2	-17.4	-2.3	10.9	-4.3
輸送機器	-6.2	10.7	-12.2	-0.5	7.6	-2.2
総受注残	-0.4	0.0	-0.5	0.1	0.3	-0.5
総在庫	-0.3	-0.2	0.2	-0.3	-0.3	-0.6
総出荷	-0.9	1.5	-1.8	0.6	-1.2	0.3

22 : 33

米主要株価

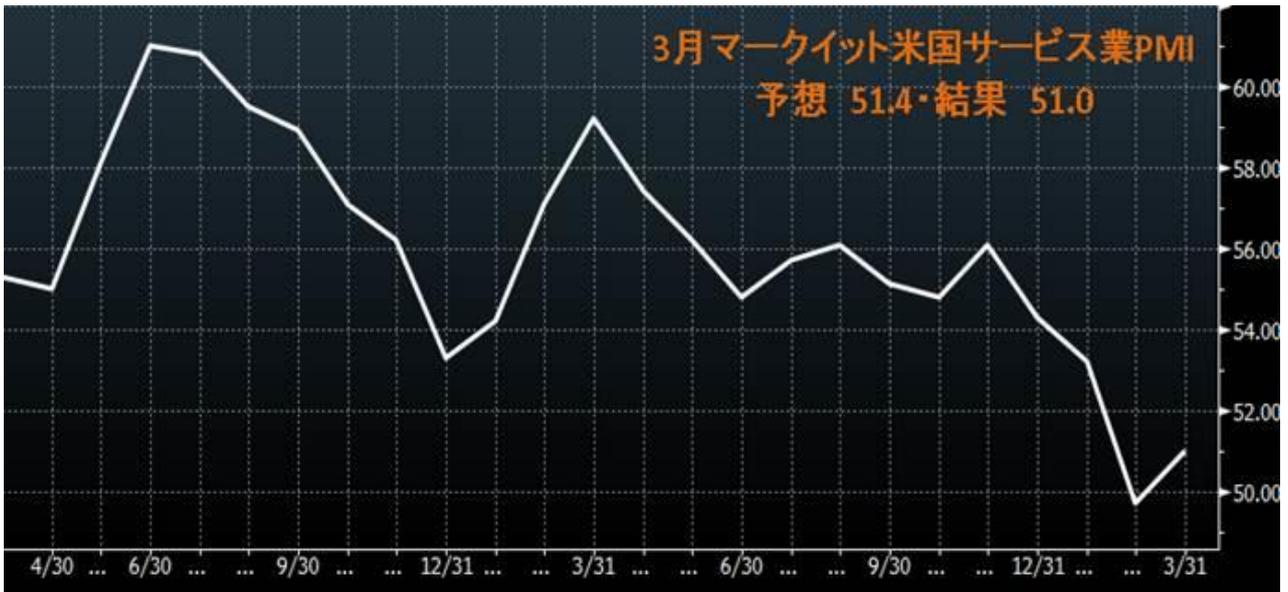
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17399.01	-103.58
ナスダック	4734.83	-34.03

(出所：SBILM)

22 : 45

《 経済指標の結果 》

3月マーケット米国サービス業 PMI 51.0 (予想 51.4・前回 49.7)



23 : 35

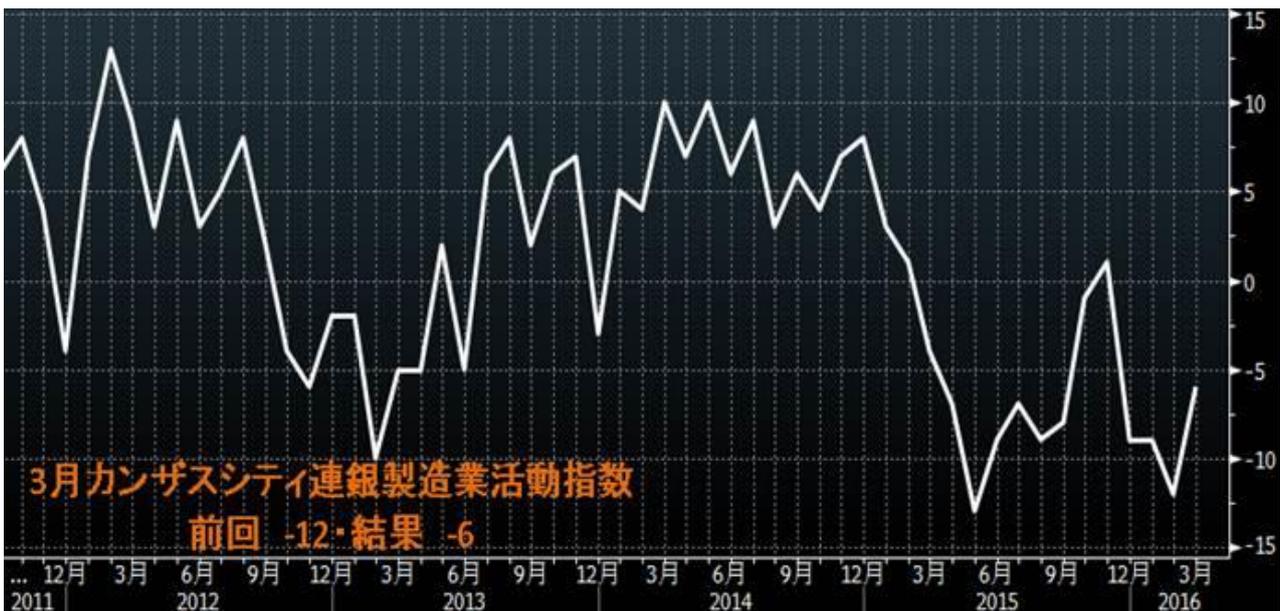
◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、原油相場の下落が続いていることや、米当局者の早期利上げの可能性に言及する発言が材料視され、主要株価は序盤から軟調な動きとなっている。米ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で103ドル安まで下落する動きとなった。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月カンザスシティ連銀製造業活動指数 -6 (前回 -12)



◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+0.6万件の26.5万件となり、2週連続で増加した。そして、55週連続で30万件を下回っており、1973年以来の連続記録。申請件数の4週移動平均は、前週比+250件の25万9750件。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-3.9万人の217.9万人と、2週ぶりのマイナスとなった。受給者数の4週移動平均は、前週比-1万3500人の220万6500人。そして、受給者比率は、前週比横ばいの1.6%だった。

(2) 2月の米耐久財受注は、前月比-2.8%の2293億6400万ドルとなり、2カ月ぶりのマイナスとなった。主力の自動車はプラスだったものの、変動の激しい航空機が落ち込んだほか、一般機械などがマイナスとなったことが影響した。

①受注の内訳は、輸送機器が-6.2%となり、国防関連の航空機が-29.2%、民間航空機が+27.1%、自動車・同部品が+1.2%。輸送機器を除いた受注は-1.0%となり、一般機械が-2.6%、電機・家電が-2.8%、電算機・電子機器が-0.9%、一次金属が-0.1%。

②資本財は-9.5%となり、資本財から国防関連を除いた受注は-7.5%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は-1.8%。国防関連は-25.6%となった。

③耐久財全体の出荷高は-0.9%、受注残高が-0.4%、在庫高も-0.3%となった。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17441.19 (-61.40)、S&P500 2026.62 (-10.09) ナスダック 4756.72 (-12.14)

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、原油価格や米国株価の値下がりに加え、2月の米耐久財受注が2カ月ぶりに減少したことから安全資産とされる米国債に逃避的な買いが入った。ただ、セントルイス連銀総裁が講演で、追加利上げは遠くないとの見方を示したことなどをきっかけに利益確定売りも広がった。

午前の利回りは、30年債が2.64%（前日2.66%）、10年債が1.88%（1.88%）、7年債が1.68%（1.67%）、5年債が1.37%（1.36%）、3年債が1.04%（1.03%）、2年債が0.87%（0.85%）。

2:00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月フランス求職者数合計 359.1万人（予想 355.5万人・前回 355.3万人）



(出所：ブルームバーグ)

《欧州のポイント》

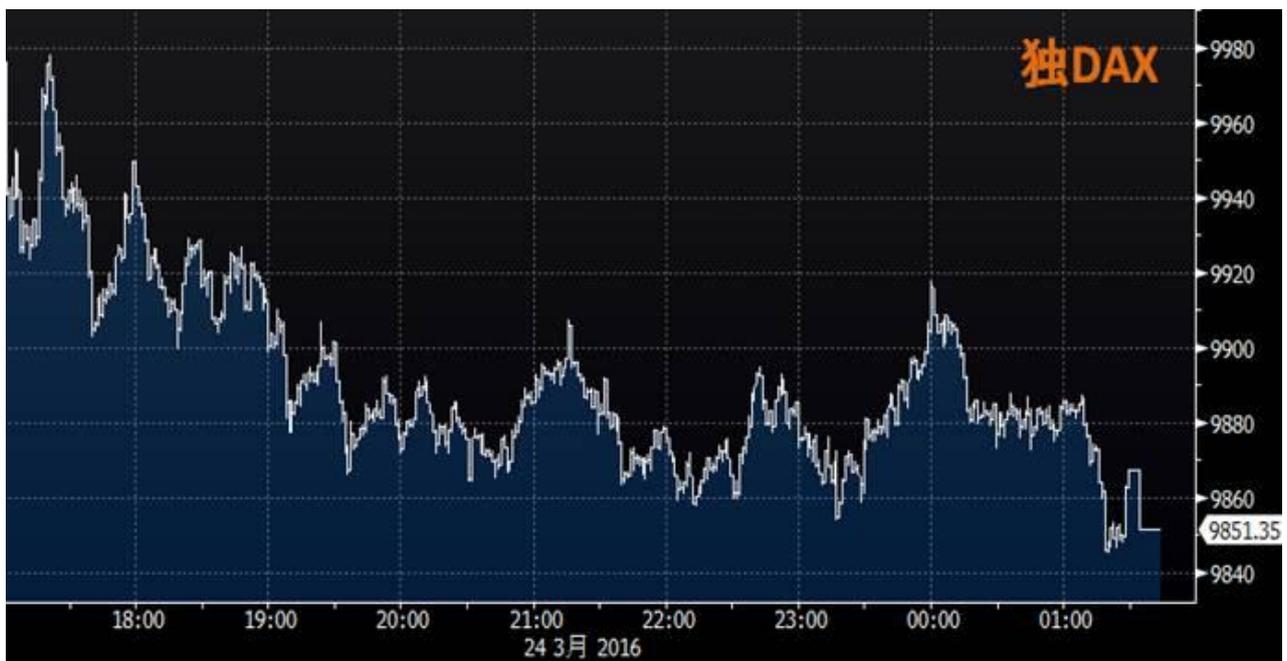
- ① ECBが発表した7回目の条件付き長期リファイナンス・オペ（TLTRO）の利用額は73億ユーロ（約9180億円）と、前回12月の183億ユーロを大きく下回った。ECBは企業や家計への銀行融資促進を目指し、新たなシリーズとなるTLTRO 2を6月に開始する。これで、現在のTLTROが2014年に始まってからの累積利用額は4260億ユーロ。昨年9月の前々回は155億ユーロだった。
- ② スイス中銀は、昨年外国為替市場での介入に861億スイス・フラン（約9兆9600億円）を投じたと、公表した年次報告で明らかにした。スイス中銀は、1ユーロ=1.20スイス・フランとしていた対ユーロでのフラン相場上限を2015年1月に撤廃。年次報告によれば、「外貨購入の圧倒的部分」は同月に行われ、「その後も必要に応じ、為替相場の展開に影響を与えるため外為市場で活動を続けた」という。
- ③ 英国がEUを離脱した場合、国内銀行の間では事業が悪影響を受けるとの見方が多いことが、BBA（英国銀行協会）の調査で分かった。BBAが英大手銀行を調査したところによると、EU離脱は「ネガティブな影響がある」との回答の割合は60%に上った。「影響は甚大」との回答は26%に達したという。BBAの会長は声明で「今回の調査で、国内銀行の間ではEUを離脱の方が良いという意見はほぼないことが判明した」と指摘。「ただ、EU加盟についての意見を公にしていない銀行がほとんどであり、協会としては国民投票に関して中立的な立場を取る」と述べた。
- ④ ECB理事会メンバーのオランダ中銀総裁は、ECBの追加緩和策は有効性の点で限界に達しているとの認識を示した。総裁は中銀の年次報告書で、さらなる資産買入れは財政ファイナンスの禁止規定に抵触すると指摘。バブルや不健全な利回り追求の動き、不良債権や富の格差増大などを招くとした。オランダのデイセルブルム財務相（ユーログループ議長）は議会宛ての書簡で、同國中銀がECBの資産買入れに伴い予想される損失に対し、38億ユーロを引き当てると明らかにした。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6106.48	-92.63
仏 CAC40	4329.68	-94.30
独 DAX	9851.35	-171.58
ストック欧州 600 指数	335.10	-4.97
ユーロファースト 300 指数	1317.16	-19.54
スペイン IBEX35 指数	8789.80	-137.30
イタリア FTSE MIB 指数	18165.84	-297.04
南ア アフリカ全株指数	52323.78	-245.77

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、序盤は堅調な動きとなったものの、原油価格が下落したことが影響し、主要株価は軟調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

3 : 25

《 要人発言 》

ラッカー・リッチモンド連銀総裁

- ・「FOMC は物価安定の促進に注力することが肝要」
- ・「FOMC は目的について明確に伝達を」
- ・「米引き締め受け、新興市場は難しい選択に直面も」

4 : 10

NY 金は、中心限月が前日比 2.40 ドル安の 1 オンス=1221.60 ドルで取引を終了した。

4 : 15

NY 原油は、中心限月が前日比 0.33 ドル安の 1 バレル=39.46 ドルで取引を終了した。

4 : 55

《 要人発言 》

カプラン・ダラス連銀総裁

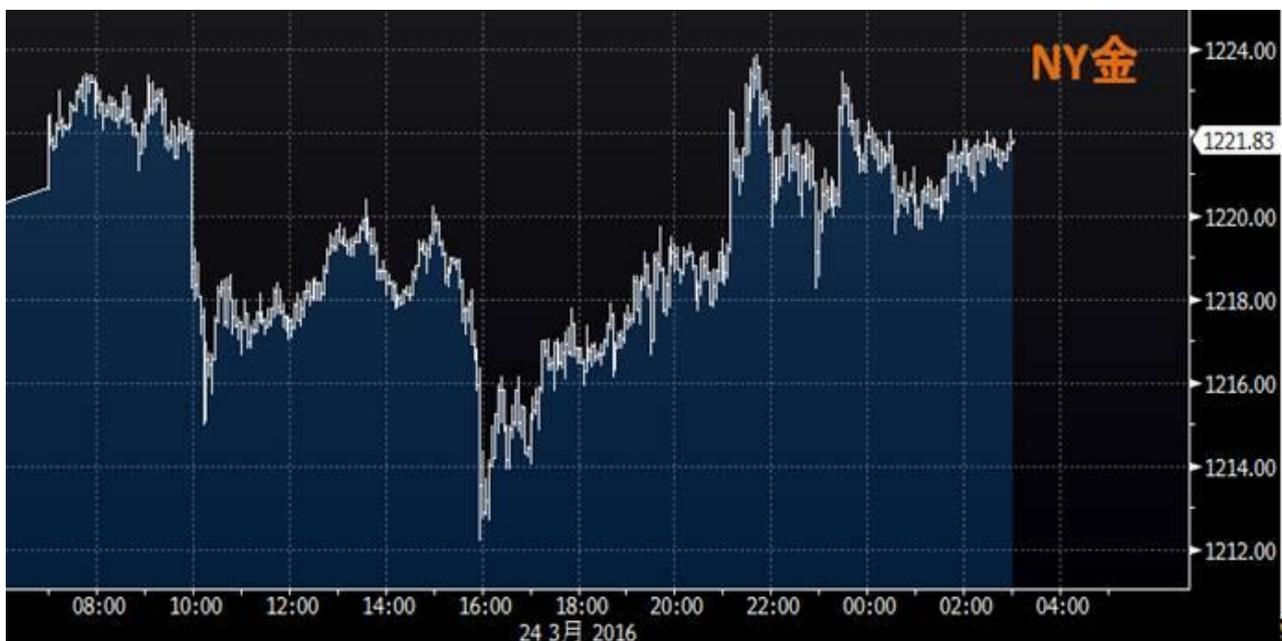
- ・「可能な限り早い正常化を、漸進的な姿勢も必要」
- ・「インフレ高進の兆候が増えることを期待」

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1221.60	-2.40
NY 原油	39.46	-0.33

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

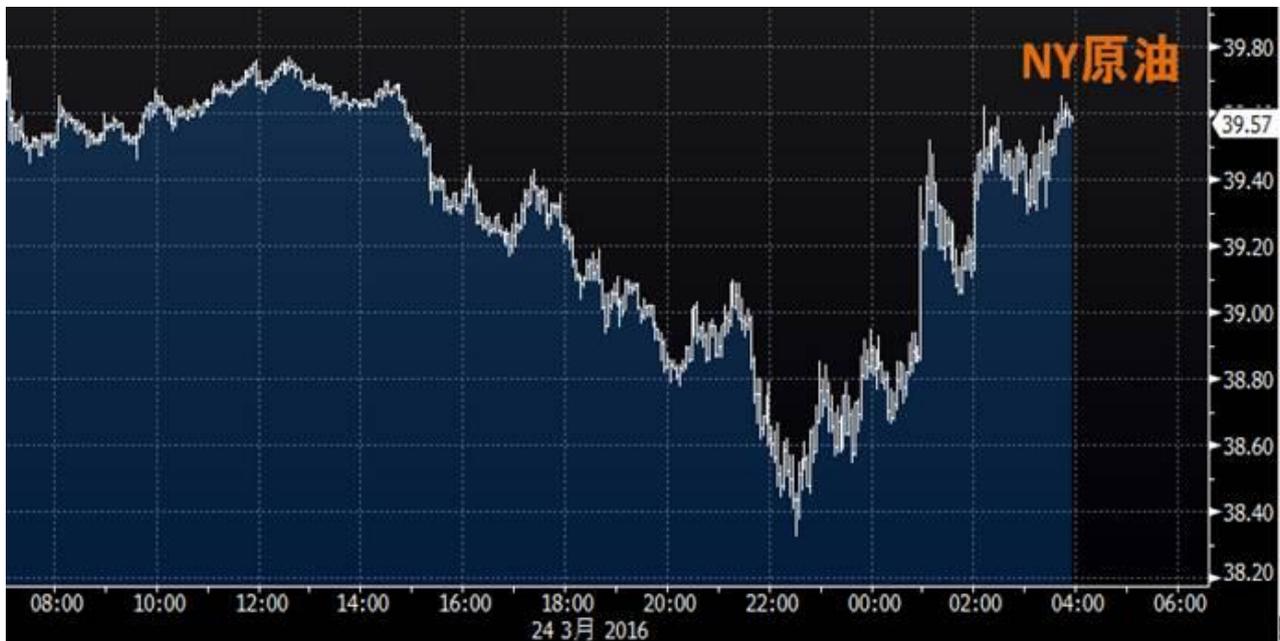
NY 金は、FRB による追加利上げが近づいているとの警戒感が引き続き材料視されたことから売りが先行した。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことも圧迫要因となった。終値ベースでは、2 月下旬以来、約 1 ヶ月ぶりの安値水準となった。



(出所: ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、前日発表された米原油在庫が大幅に増加したことが引き続き材料視され、供給過剰への警戒感から売りが先行した。ただ、その後は米石油サービス大手が発表した米国の石油掘削装置稼働数が減少したことを好感する買い戻しも入った。



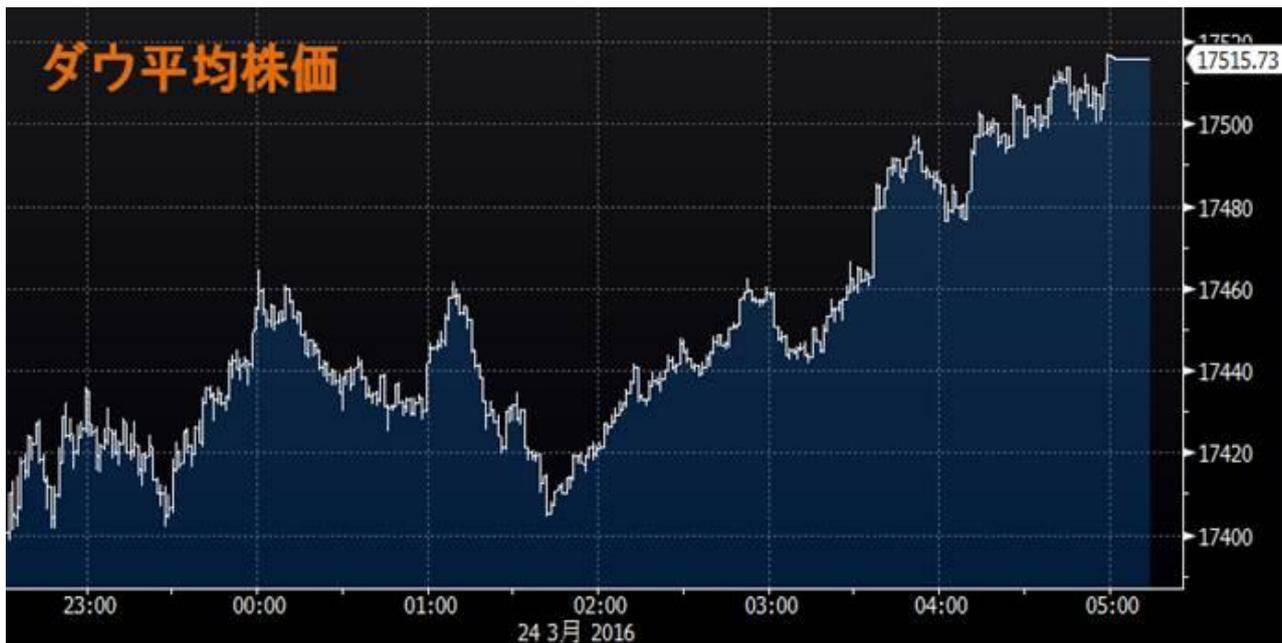
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17515.73	+13.14	17517.14	17399.01
S&P500 種	2035.94	-0.77	2036.04	2022.49
ナスダック	4773.50	-4.64	4773.51	4734.77

(出所：SBILM)

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、原油相場の下落が続いていることや、米当局者早期利上げの可能性に言及する発言が材料視され、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。その後は、下げ幅を縮小する動きとなり、終盤にはプラス圏まで上昇する動きとなった。米ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で103ドル安まで下落する動きとなった。ただ、終盤にはプラス圏まで値を戻して引けた。



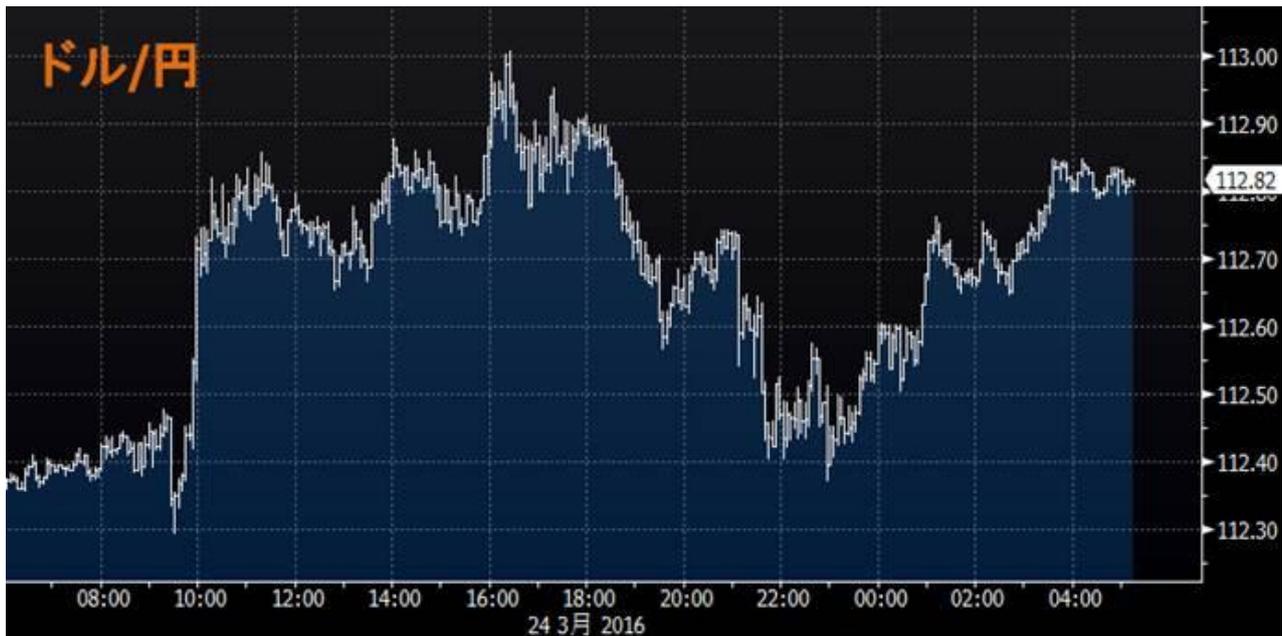
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	112.85	112.87	112.39
EUR/JPY	126.13	126.14	125.39
GBP/JPY	159.70	159.87	158.60
AUD/JPY	84.94	84.99	84.40
NZD/JPY	75.64	75.64	75.29
EUR/USD	1.1180	1.1187	1.1148
AUD/USD	0.7528	0.7535	0.7498

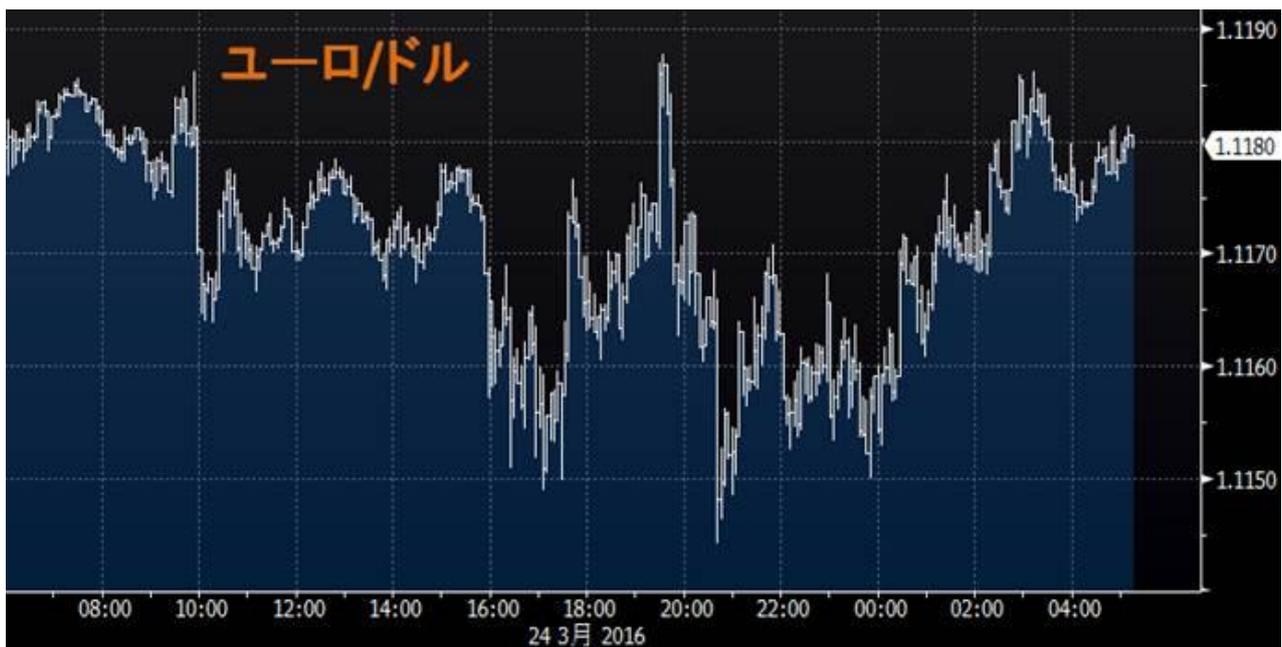
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、原油価格や株価の下落に加えて、米耐久財受注が2ヵ月ぶりに減少したことなどを材料に、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、イースターの休暇を前に様子見ムードも強く、値動きは限定的となった。その後、原油価格が大きく反発したことを受けて、株価も下げ幅を縮小し、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。